

鉄道博物館 収蔵資料展

「いろいろ、とりどり。鉄道広告 ～あの日、あの場所、あの広告～」の開催について

- 鉄道は人々が利用する移動手段であるとともに、それを利用する人々に対し、広く情報を伝える効果的な「媒体（メディア）」としても発展してきました。
- 明治11年、客車の車内に初めて広告が掲示されてから今日に至るまで、さまざまな手法やデザインの広告が生まれました。本展では、鉄道に関する広告をメディア別に体系化して紹介し、時代を反映したデザインのおもしろさや、日常に溶け込む鉄道広告の魅力を紹介します。
- 「あの日見た広告」や「あの場所で見えた広告」など、人々の記憶に残る懐かしい広告から近年の新しい広告事例まで、鉄道広告の魅力をぜひお楽しみください。

1 会 期 2026年7月11日(土)～9月28日(月)

2 会 場 鉄道博物館 本館2F スペシャルギャラリー1

3 入 場 料 無料 ※入館料のみでご覧いただけます。

【入館料（税込）】

	一般	小中高生	幼児
前売料金（前日まで）	1,500円	500円	200円
当日料金	1,600円	600円	300円

※幼児は3歳以上未就学児。

※スムーズにご入館いただくために、事前にオンライン入館券のご購入をおすすめします。

※障害者手帳等、各種利用券等をお持ちの方は事前に入館券をご購入いただく必要はございませんので、直接当館エントランスカウンターへお越しください。

※鉄道博物館オンライン入館券のご購入はこちらから

鉄道博物館ホームページ <https://www.railway-museum.jp/>



ポスター（イメージ）

4 主 催 鉄道博物館

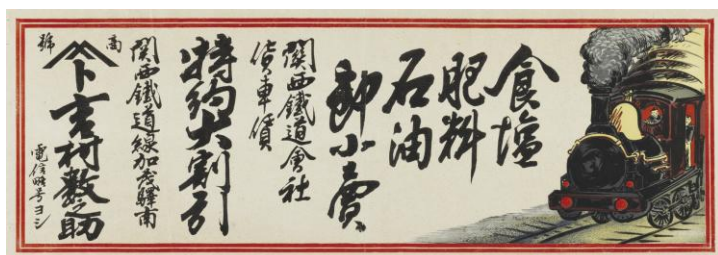
5 後 援 東日本旅客鉄道株式会社
さいたま市

6 協 力 東海旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、
株式会社ジェイアール東日本企画、川商フーズ株式会社、
株式会社セブンツーセブン、一般社団法人 日本交通協会、
アドミュージアム東京、たばこと塩の博物館
(順不同)

7 展示内容

第1章 鉄道広告の歴史概観

日本初の車内広告が誕生した明治期から、鉄道広告は時代の変化に寄り添いながら、その姿を変えていきました。広告が鉄道運営に欠かせない存在へと定着していく過程を紹介しします。



引札「関西鉄道会社貨車賃特約大割引」(1897年頃)



ポスター「てつどうこうこく」(1927年)
一般社団法人 日本交通協会所蔵

第2章 媒体別に見る鉄道広告

2-1 「空間に溶け込む鉄道広告」

多くの人々が行き交う駅は広告の宣伝効果の高い場所として、観光地へ誘うポスターや各種看板などが設置されています。ここでは駅をはじめ、さまざまな鉄道関係施設において見られる広告事例を紹介しします。



ポスター「東洋唯一の地下鉄道」(1927年)
一般社団法人 日本交通協会所蔵



東京地下鉄道銀座線新橋駅の看板 (1934年)



各種記念バナー

2-2 「走る広告塔」

目的地へ向かうまで一定時間滞在する列車の車内も宣伝効果が高い空間と言えます。代表的なものの中吊り広告や、まど上広告です。その他にも列車の顔を彩るヘッドマークや、車体側面の外板に広告を施して、車両そのものを広告媒体とする例もあります。ここでは鉄道車両の特徴を活かした列車内外で見られる広告形態を紹介します。



東宮殿下御帰朝奉祝花電車絵葉書（1921年）



車内の中吊り広告（1987年）



ヘッドマーク「JR SKI SKI」（1998年）

2-3 「暮らしの中の鉄道広告」

私たちの日々の暮らしの中にある、テレビCMや雑誌広告、販売促進グッズなど、鉄道をより身近に感じさせてくれる広告の数々を紹介します。特に鉄道会社のテレビCMは、起用された出演者や音楽とも相まって、懐かしさを感じていただけることでしょう。



上越新幹線開業記念貯金箱
（1982年）



SUPER EXPRESS プロモーションイベント用
スタッフジャンパー（1989年）



各種記念マッチ

第3章「特集展示—媒体を超えた鉄道広告」

様々な媒体にまたがり、特定のキャンペーンや題材をもとに制作されたポスター、CM、ノベルティグッズなどをテーマ別に一括りにして紹介します。



特集展示 (Suica)

8 特別イベント

会期中、小さなお子さまから大人までお楽しみいただける特別イベントを開催します。

(1) サテライト展示 「駅弁 () デザイン展」

約140年前に鉄道専用の道中食として登場し、今も多くの人に愛され続けている駅弁。掛紙や器、内容など、駅弁における様々なデザインをキーワードに、その価値を楽しみながらひも解く展示を開催いたします。

■会 期 2026年7月11日(土)～9月28日(月)

■会 場 本館2F スペシャルギャラリー2

■後 援 東日本旅客鉄道株式会社
さいたま市

■協 力 株式会社 淡路屋、株式会社 荻野屋、株式会社 京王百貨店、
株式会社 JR 東日本クロスステーション、広島駅弁当株式会社、
西日本旅客鉄道株式会社 (順不同)

■展示内容

第1章 「駅弁 (の) デザイン」

駅弁の顔である掛紙は、中身を伝えるためイラストだけでなく、旅行案内など購入者にとって有益な情報の記載がされていました。現在も掛紙を使用している駅弁は多く、ユニークなイラストや風景などが描かれています。掛紙のデザインに焦点をあてます。

第2章 「駅弁 (と) デザイン」

近年駅弁の器は、器そのものに多様な価値があり、見た目の楽しさやコレクションをすることも駅弁の醍醐味となっています。現在も販売されている印象的な駅弁容器の展示を行います。



ひっぱりだこ飯（写真：株式会社 淡路屋）



峠の釜めし（写真：株式会社荻野屋）

第3章 「駅弁（を）デザイン」

駅弁はその土地の名産品や、伝統的な味付けなど郷土食や文化的な切り口で楽しめます。広島駅弁当の考え抜かれた味や食の配膳、郷土食のつながりを紹介することで駅弁の内容のデザインに焦点をあてます。

第4章 「駅弁（が）デザイン」

車内で必要な食事から、旅を楽しむアイテムとして変化した駅弁は、今や鉄道だけでなく空港や催事場などで販売されお土産として楽しまれています。京王百貨店の「駅弁大会」や冷凍駅弁などの展示を通して、駅弁のこれからを紹介します。

※「駅弁（ ）デザイン展」の図録の販売を予定しています。

(2) 「鉄道広告」担当学芸員によるギャラリートーク

企画展の見どころを担当学芸員が解説します。

- 日 時 2026年8月9日（日）、9月27日（日）
13:00～14:00
- 場 所 本館2F スペシャルギャラリー1
- 定 員 20名程度（先着順）
- 参加方法 開始5分前に本館2F スペシャルギャラリー前へお集まりください。

(3) 「鉄道広告」ワークショップ「自分だけの中吊り広告をつくろう！」

「中吊り広告」をデザインするワークショップです。専用の台紙に好きな絵やキャッチコピーを書いて、自分だけのオリジナル広告を制作します。完成した作品は、館内の実物車両にはめ込んで、記念撮影をお楽しみいただけます！

- 日 時 2026年8月15日（土）、8月16日（日）
13:00～14:30
- 場 所 本館2F ステンドグラス前
- 定 員 10名（先着順）
- 参加方法 直接会場へお越しください。
※定員に達した場合はご参加いただけない場合があります。

(4) 「駅弁 () デザイン展」ワークショップ 「親子で名物駅弁を作ろう！」

お子さまを対象に、郷土食や作り手の観点から、自分なりのオリジナル駅弁が作れるワークショップを開催します。

- 日 時 2026年8月9日(日)
13:00～(30分程度)
- 場 所 本館2F ステンドグラス前
- 定 員 10組 てっぱく抽選アプリによる抽選
- 対 象 お子さまと保護者の方ペアでご参加ください。

(5) てっぱく大学

本展で取り上げる鉄道広告の歴史を、より深く、楽しく探求することができる特別講義を開催します。

①「鉄道広告」担当学芸員による企画展テーマ解説

- 日 時 2026年7月11日(土)
13:00～14:00
- 場 所 本館2F てっぱくシアター
- 定 員 45名(先着順)
- 参加方法 直接会場へお越しください。

②「鉄道広告」株式会社セブンツーセブンによるトークショー

- 日 時 2026年8月22日(土)
13:00～14:00
- 場 所 本館2F てっぱくシアター
- 定 員 45名(先着順)
- 参加方法 直接会場へお越しください。

※定員に達した場合はご参加いただけない場合があります。

※この他にも、会期中様々なイベントを予定しております。

※各種イベント等の詳細は、以下にて順次お知らせいたします。

鉄道博物館ホームページ (<https://www.railway-museum.jp/>)

公式 Facebook (<https://www.facebook.com/teppaku>)

公式 Instagram (<https://www.instagram.com/railwaymuseum/>)

※掲載内容については、2026年6月現在のものです。告知内容は予告なく変更、または中止となる場合がございます。

※写真・イラストはイメージです。